

Nagoya University Medical Museum

Small Exhibit 15th

三二企画展

# 帝国大学へ あと一歩

— 官立名古屋医科大学の八年 —



2017 2. 16 THU - 5. 31 WED

平日 9:00-20:00 3月21日-31日は9:00-17:00

土 13:00-17:00

休館日: 日・祝日、3月25日

入場無料

名古屋大学附属図書館 **医学部分館** 2階入口ホール

問合せ先: 名古屋大学附属図書館医学部分館

名古屋市昭和区鶴舞町65

TEL 052-744-2505

**特別講演会 吉川卓治** (名古屋大学大学院教育発達科学研究科教授)

2017年5月18日(木) 14:00-15:30 (名古屋大学医学部基礎研究棟 1階会議室2)

医育統一・インチキ学校征伐・官立医大不振

— 医育の1930年代 —

県立愛知医科大学は東海地方に初めて誕生した大学でした。しかし、大正末、県費の補助は、わずか十数万円、これに県債償還の負担も加わり、経営を病院収入に依存せざるを得ませんでした。

この状況を打開するには、帝国大学への発展昇格が最善であり、官立医科大学への移管が次善の策でした。大学当局、同窓会「鶴天学友会」、名古屋財界・政界は一丸となって「... 本州/中腹... 鉄道/集中ニヨッテ脈絡/帰趨スルトコロ」名古屋に「総合大学/実現ヲ期」することになりましたが、昭和恐慌期の財政下に、名古屋の帝大昇格は覚束ないとの判断で、請願は次善の策「官立移管」に絞られました。

1930年(昭和5年)3月、「十年間は収入支弁に関して政府を煩わさず」の一札を入れて、ようやく官立移管は帝国議会で承認され、翌1931年5月1日、名古屋医科大学として発足しました。

名古屋帝国大学創設まで、さらに8年の歳月を必要としました。

ミニ企画展「**帝国大学へ**あと一歩—官立名古屋医科大学の八年—」は、名古屋大学医学部史料室(附属図書館医学部分館4階)に所蔵する史料の中から、官立名古屋医科大学時代(1931-1939)の教育、研究、診療、そして名古屋帝国大学創設について、関連する図書、写真などにより、展示公開します。

企画展期間中に、特別講演会も開催します。

## 特別講演会

入場無料  
予約不要

### 医育統一・インチキ学校征伐・官立医大不振 —医育の1930年代—

日時: 2017年5月18日(木) 14:00-15:30

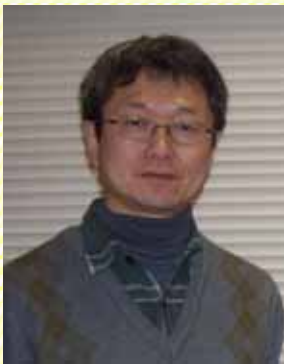
会場: 名古屋大学医学部基礎研究棟 1階 会議室2

よしかわたくし

**吉川卓治** (名古屋大学大学院教育発達科学研究科教授)

名古屋大学教育学部教育学科卒業

名古屋大学大学院教育学研究科博士後期課程中退



#### 【主要論文・著書】

- 『公立大学の誕生 近代日本の大学と地域』  
名古屋大学出版会、2010年(単著)
- 『西洋世界と日本の近代化 教育文化交流史研究』  
大学教育出版、2010年(共編著)
- 『名古屋教育史Ⅲ 名古屋の発展と新しい教育』  
名古屋市教育委員会、2015年(共著)
- 『愛知県史』資料編36、現代  
愛知県史編さん委員会編、2016年(共編著)



#### 資料ご寄贈のお願い

みなさまがお持ちの医学・医療史に関連する資料がありましたら、ぜひご寄贈いただきますよう、お願いいたします。

#### 近代医学の黎明デジタルアーカイブ

<http://www.med.nagoya-u.ac.jp/medlib/history/>

名古屋大学医学部史料室に所蔵している史料をデジタル化し、「近代医学の黎明デジタルアーカイブ」として、インターネットで公開しています。ぜひご覧ください。